第67番 大興寺

- ●香川県三豊市山本町辻4209 ☎0875-63-2341
- ●宿坊/なし



第68番 神恵院

- ●香川県観音寺市八幡町1-2-7 ☎0875-25-3871
- ●宿坊/なし



沿線の見どころ



道の駅 ことひき

琴弾公園内にある道の駅。観音寺市や香川県の物産品・土産品が購入できる。また、世界各地の珍しいコインや紙幣など約2,000点を展示した「世界のコイン館」、2016年にオープンした「太平正芳記念館」がある。観音寺市の祭りで登場する太鼓台の展示施設「観音寺市総合コミュニティセンター」や「郷土資料館」もあり、歴史や文化を学ぶことができる。

- 所香川県観音寺市有明町3-37
- 0875・24・2150(観音寺市総合コミュニティセンター)、 0875・23・0055(世界のコイン館)
- 図9:00~17:00
- 型世界のコイン館・太平正芳記念館共通入館料大人300円、小中学生150円、郷土資料 館無料



境内の見どころ



金剛力士像

仁王門で参拝客を出迎えるのは、高さが約3mある金剛力士像。四国の寺院の中では最大といわれている。寺伝によると高名な仏師であった運慶作。ただし、頭部だけは江戸時代に替えられたもの。カッと見開かれた目、阿吽の口元、たくましい腰の線など全体的に力強く、その迫力は見る者を圧倒する。



境内の見どころ



天台大師堂

本堂に向かって右手にあるのが中国の天台宗第三祖天台 大師智顗(ちぎ)を祀る天台大師堂。中に納められている大師 坐像は、彩色を施した檜材の 寄木造りで鎌倉時代の作。頭 巾をかぶり、納衣の上に袈裟を かけ、両手は腹の前で禅定の古 い像は全国でも少なく、県の 化財に指定されている。





日本遺産「四国遍路」~回遊型巡礼路と独自の巡礼文化~

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業/発行:四国遍路日本遺産協議会/制作:(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に



第67番

小松尾山大興寺

こまつおざん ふどうこういん だいこうじ

二大宗派が共存した異色の寺院

歷史•全体像

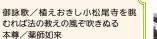


東大寺末寺として建立されたと伝えられる 大興寺の歴史は古く、境内からは奈良時代の ものを示す十四葉素弁の蓮華文軒瓦が出土し ている。後年、嵯峨天皇の勅願により弘法大師 が熊野三所権現鎮護の霊場として再建した。 現在は真言宗だが、本堂に向かって左側に弘 法大師堂、右側に天台大師堂が並び、かつて は天台と真言の二大宗派が共存する異色の寺 院であった。修験者たちの道場として栄え、最 盛期には真言宗24坊、天台宗12坊が境内に 軒を連ねていたほど。薬師如来坐像、金剛力 士像など香川県の文化財に指定されたものも 多い。のどかな田園の中にあり、地元では「小 松尾さん」の名で親しまれている。

境内

寺の前の小川にかかった橋を渡り、仁王門をくぐると、樹齢1200年余りといわれるカヤとクスノキの大木が迎えてくれる。

長い石段を上りきった正面には本堂があり、その左右に二大宗派が共存していたことを示す二つの大師堂が建っている。現在の本堂は江戸時代の初期に再建されたもの。その中では何本もの赤いロウソクの火がゆらめく。これは「七日燈明」と呼ばれる秘法で、赤い大ロウソクに願いごとを書いて奉納すると、7日間ロウソクを灯し祈願してくれる。参拝できない遠方の人の奉納も多い。



真言/おん ころころ せんだり まと うぎ そわか

宗派/真言宗善通寺派 開基/弘法大師









日本遺産

2017年3月作成

